

■御堂筋平野町街園について

御堂筋平野町街園とは、御堂筋と平野町通が交わる平野町三丁目交差点に位置する4つの植込みの総称です。

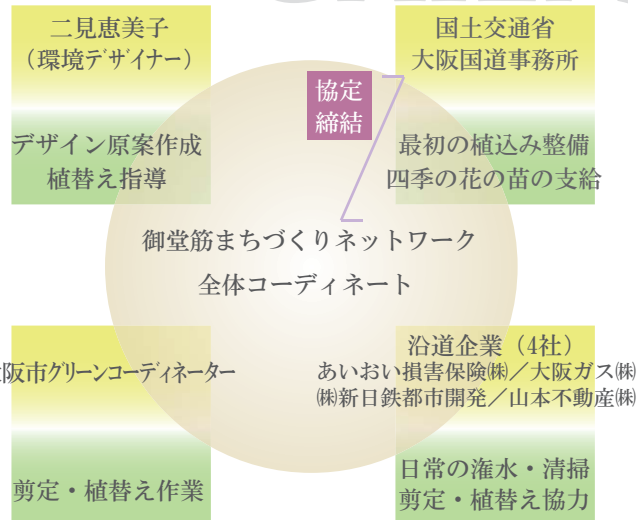
平野町通は昭和10年頃賑わいの中心であった歴史のある通で、平野町三丁目交差点は大阪ガスビルや和菓子・ガーデンニングなどのショップが面する多くの人が集うスポットです。



Before

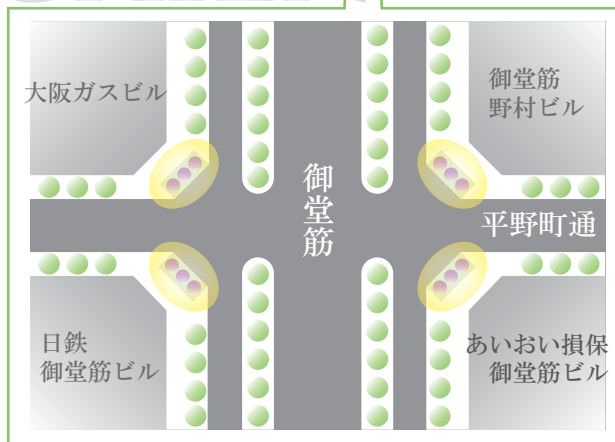
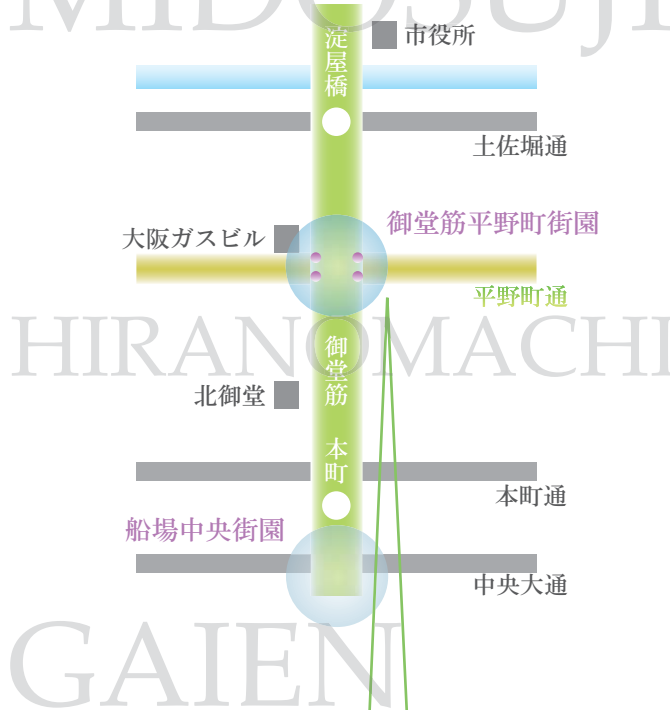
そこで2004年、御堂筋まちづくりネットワークが呼びかけて、国土交通省ボランティアサポートプログラム・大阪市グリーンコーディネーターの協力を得た植込み再生プロジェクトがスタートしました。植込みは御堂筋平野町街園として生まれ変わり、ビジネス街に安らぎの空間を創出しています。

■御堂筋平野町街園の推進体制



■御堂筋平野町街園のロケーション

・地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より徒歩3分



御堂筋まちづくりネットワークは、大阪の顔である御堂筋が「活力と風格あるビジネス街」として維持発展することを目指して活動しています。

お問い合わせ先：御堂筋まちづくりネットワーク事務局
TEL:06-6263-7541 MAIL:info@midousuji.biz



御堂筋平野町街園



GAIEN



参加者記念撮影

御堂筋のプランターに秋の植物を植えるボランティアのメンバー
＝大阪市中央区

まちづくり団体「御堂筋まちづくりネットワーク」(33者加盟)は7日、大阪のメインストリート、御堂筋にあるプランターに季節の花を植える作業を行った。大阪市が設置したプランターが放置されていたため、手入れしようと企画されたボランティア活動。同ネットワーク事務局の藤川敏行さん(44)は「大阪の顔である御堂筋を地元の力できれいにし



御堂筋に花咲かそう

たい」と話していた。作業は朝8時にスタート。御堂筋沿いの企業や学校など、同ネットワークに加盟する10団体から33人が参加し、御堂筋の彫刻横にあるプランターに、ブルーサルビアやペチュニア、アバープルなど秋らしい植物を植え、沿道の雑草も抜いた。植栽したのは、市が平成16年に設置した6カ所計12箱のプランター。手入れがされずに枯れ果てたため、2年前、市が提供した苗を同ネットワークが植える作業を行った。だが、素人による植栽で根付かず、今回は市からグリーンコーデイネーターの派遣を受け、苗もネットワーク側が用意し作業を行った。活動に参加した損害保険ジャパンの西咲恵さん(29)は「道行くひとに気持ちよく歩いてもらえるようになったのでは」と話し、同社の山崎緑さん(22)も「自分たちで植えたことで、いつもと違う気持ちで通勤できそうです」。

13年に結成された「御堂筋まちづくりネットワーク」は、御堂筋の彫刻設置やイベントの開催などを行っている。

まちづくり団体が作業